

## 株式会社アキュラホーム 2010年 年頭所感

株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区 社長:宮沢俊哉)では、2010年1月5日(火)に、年頭式を行いました。ここに、弊社社長宮沢の年頭所感を紹介いたします。

### 2010年1月5日 弊社社長年頭所感(要約)

新年あけましておめでとうございます。

振り返ると、昨年は大変厳しい一年でした。景況感の悪化やデフレの進行、景気の二番底なども懸念されました。また、住宅着工戸数は80万戸程度まで落ち込み、我々の業界にも大きな逆風が吹き荒れました。しかし一方では、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行され、年末には緊急経済対策として「住宅版エコポイント制度」「贈与税非課税枠1500万円まで拡大」が閣議決定されるなど、業界に追い風となる動きも見られました。まさに時代の大きな転換期と言えるでしょう。

このような環境のもと、当社では国土交通省が実施する平成21年度第1回「長期優良住宅先導的モデル事業」や、平成21年度第2回「住宅・建築物省CO2推進モデル事業」への提案が立て続けに採択されました。また、埼玉県住宅供給公社の「エコ住まーとプロジェクト」の協賛企業として採用されるなど、これまでの取り組みが大きく評価された一年でありました。

今年も引き続き、景気回復にはまだまだ時間を要するものと思われ、業界の競合は一層の激しさを増し、市場の縮小も懸念されています。この大転換期にあたり、品質第一・信用第一とする企業風土を確立することこそが、さらなる成長につながると確信しています。そのためにも今年は「今自分が成すべき業務をしっかりと極める年」「お客様満足を継続して得られる年」にしたいと考えます。

禅の用語で「七走一坐(しちそういちざ)」という言葉があります。これは、動いたら必ずとまり体制を整えてからまた動き出すことこそが、安定した成長が図れるという意味です。この言葉の通り、今年も、今まで取り組んできたことをよく見直し原点に立ち返り足元を固め、さらに深掘りし、そして、お客様にお引渡しをした後も50年、100年と満足度が続いていくような家づくりができるよう、業務の質を上げることを心がけて下さい。

昨今、成熟社会が進展する中、少子高齢化、環境問題など社会が抱える課題や問題が山積していると言われております。この中で、住宅は生活の基盤であることから、様々な問題の根幹をなすといっても過言ではありません。私たちは、この課題や問題に対して、家づくりを通じて積極的に取り組んでいきたいと考えます。例えば、長期優良住宅をベースとして、環境に優しく、健康で長く住み継ぐことができる住宅を適正価格で提供することで、環境負荷を抑え、お客様の日々の暮らしの豊かさに貢献することができます。このように家づくりを通じて様々な社会的な不安を解消し“社会を笑顔にする”ことができるのは、住宅産業であると思っています。

年頭にあたり、皆さんの奮起、活躍を期待するとともに、当社に関わる全ての方々の安全と健康をお祈りして新年の挨拶といたします。

---

#### <本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・山本

住所:東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL:03-6302-5010

ホームページ: <http://www.aqura.co.jp>

弊社社長宮沢の写真データは下記URLよりダウンロードすることができます。

URL: <http://www.aqura.co.jp/news.html>